



『UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい 母乳育児支援ガイド ベーシック・コース 「母乳育児成功のための10カ条」の実践』

評者・石黒 和代／児島 京子 大阪市立十三市民病院

本書を紹介する前に、前版である『UNICEF/WHO 母乳育児支援ガイド』に触れておきたい。2003年発刊当時、哺乳びんを使うことに何の疑問も持たずにいた私たちスタッフが「母乳育児とは何か」を学んだ、まさに「目から鱗」の衝撃を受けた最初の教科書である。人類の長い歴史の中で継続されてきた当たり前の方法のはずなのに、赤ちゃんを育てることはどうしてこんなに大変なのか。母乳育児支援にかかわった経験があれば一度は感じたことがあると思うが、この本を読んでそんな不安が薄らいでいったことを覚えている。具体的にどのよう

なケアを行えば効果的に母乳育児支援ができるかという実践方法がわかりやすく解説されていて、母乳育児支援スキルの基礎となった。

BFHI(赤ちゃんにやさしい病院推進運動)、そして「母乳育児成功のための10カ条」の実践に取り組み、当施設は2009年にBFH(赤ちゃんにやさしい病院)の認定を受けた。今後は母乳育児支援の水準を維持、更新していくことに力を注がなくてはならないと責任を感じている。スタッフ1人ひとりがさらに深く「10カ条」を理解し、これから新しく母乳育児支援に携わるメンバーは効果的にその方法を学ぶ必要がある。

本書は、前版がバージョンアップした改訂版で、母乳育児支援に取り組むうえで非常に効果

母乳育児支援のための 効果的なテキスト



BFHI 2009 翻訳編集委員会 訳
定価 4410 円(本体 4200 円 + 税 5%)
B5 判/医学書院/2009 年

的なテキストになっている。

まず、学ばなければならない内容が「産科スタッフのための20時間コース」としてまとめられている。スタッフの知識とスキルを向上させ、「10カ条」と「母乳代用品のマーケティングに関する国際基準」を十分に実行できるようにするための教程で、具体的な学習方法と3日間コースの時間割モデルも示されている。また、「赤ちゃんとお母さんにやさしい」というタイトルが追加されているように、新たに陣痛・分娩時の「お母さんにやさしいケア」や「母乳で育てない場合の支援」が加えられたことも、今回の改訂の

大きな特色である。

お母さんと赤ちゃんに寄り添うことに何年取り組んでも、母乳育児の奥の深さには計り知れないものがある。どうすることが一番いいのか、迷ったり、スタッフ間で意見が合わなかったりということは日常よくあるものだが、そんな時に本書は確かな指針を示してくれるはずである。細部にわたって具体的な支援方法が記載されているので、困った時には辞書のように使える。また、写真や図を多く配して理解しやすく読みやすい構成になっていることもうれしい。

スタッフ1人ひとりの努力の積み重ねがチームとしての支援向上につながっていくが、本書がその大きな礎となることを確信し、皆様に紹介できることに感謝している。